



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月8日

上場会社名 日本ルツボ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5355 URL <https://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 有司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡本 聡

TEL 03-3443-5551

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,392	0.9	143	90.2	152		95	187.2
2024年3月期第1四半期	2,415	9.7	14	79.7	11	87.6	33	28.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 133百万円 (106.0%) 2024年3月期第1四半期 64百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	14.41	
2024年3月期第1四半期	4.98	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	11,074	5,345	48.3	806.46
2024年3月期	10,684	5,292	49.5	798.55

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,345百万円 2024年3月期 5,292百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		12.00	12.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	10,000	4.1	550	64.6	600	74.3	400	40.0	60.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,045,200 株	2024年3月期	7,045,200 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	417,355 株	2024年3月期	417,355 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	6,627,845 株	2024年3月期1Q	6,675,745 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業況判断が改善し景気の緩やかな回復が継続しました。先行きについては、各種の政策効果もあって景気の緩やかな回復が継続していくことが期待されますが、海外景気の下振れや為替変動のリスクなどを十分に注視する必要があります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、景況感は改善しているものの販売台数及び生産台数が前年比減少となるなど、下振れリスクに注意が必要な状況にあります。

鉄鋼産業は、建設部門における需要は増加したものの、粗鋼生産量が前年同月比で減少となるなど、予断を許さない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23億9千2百万円（前年同四半期比0.9%減）となりましたが、利益面では、営業利益は1億4千3百万円（前年同四半期比902.2%増）、経常利益は1億5千2百万円（前年同四半期比1231.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9千5百万円（前年同四半期比187.2%増）となりました。

#### ①事業の分野別業績

鑄造事業は、主力製品の販売増により、売上高11億5千3百万円（売上高比率48.2%）と前年同四半期比14.0%増加いたしました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当する高炉での受注が若干減少したことにより、売上高2億8千6百万円（売上高比率12.0%）と前年同四半期比5.6%減少いたしました。

工業炉事業は、新製品であるフリーダム炉の完工件数が特に前年度に多かったため、売上高1億8千9百万円（売上高比率7.9%）と前年同四半期比10.4%減少いたしました。

環境・工事業は、民間焼却設備の炉修の完工が前年同四半期比で若干減少し、売上高5億8千8百万円（売上高比率24.6%）と前年同四半期比7.1%減少いたしました。

不動産事業は、売上高9千5百万円（売上高比率4.0%）とほぼ前年同四半期並み（前年同四半期比0.5%減）となりました。

塗料循環装置事業は、受注案件の納期の影響があり、売上高7千9百万円（売上高比率3.3%）と前年同四半期比50.1%減少いたしました。

#### ②事業の種類別セグメントの業績

種類別セグメントの売上高は、耐火物事業の売上高は14億4千万円（売上高比率60.2%）と前年同四半期比9.3%増加し、営業利益は1億7千1百万円となりました。エンジニアリング事業の売上高は7億7千6百万円（売上高比率32.5%）と前年同四半期比7.8%減少し、営業利益は1億1千7百万円となりました。不動産事業の売上高は9千5百万円（売上高比率4.0%）と前年同四半期比0.5%減少し、営業利益は5千8百万円となりました。その他事業の売上高は、7千9百万円（売上高比率3.3%）と前年同四半期比50.1%減少し、営業損失は2千4百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比1億1千4百万円（1.7%）増加し、67億7千6百万円となりました。主として、現金及び預金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2億7千5百万円（6.8%）増加し、42億9千7百万円となりました。主として、工場の設備投資によるものです。

これにより、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億8千9百万円（3.6%）増加し、110億7千4百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比2億7千3百万円（7.4%）増加し、39億4千3百万円となりました。主として、短期借入金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比6千4百万円（3.7%）増加し、17億8千5百万円となりました。主として、長期借入金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比5千2百万円（1.0%）増加し、53億4千5百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.3%（前連結会計年度末は49.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定です。